あひるの会

みどりの風

MIDORI NO KAZE

No.59　発行日　29. 12 .5

H.P　http://akaneen.com/

「変化」と向き合い「変化」に取り組む

～施設長就任、２年目を迎えて～

あかね園 施設長　松尾　公平

昨年、法人設立30年の節目にあたり、先代の柴田（現常務理事）から私がバトンを受け取ることとなりました。法人としては初めてとなる施設長の交代です。

園にとっての新たなスタートの年に皆様からの多大なるご理解と多くの温かい励ましを頂いたことに心より感謝申し上げます。

園の設立者として30年先頭に立って園を牽引してきた“大きな存在”が一線から退くこの「変化」には当然のことながら、利用者や保護者、そして職員にとって様々な心配や不安があると思いますが、これからも法人理念をしっかりと継続していくことをお伝えし、新施設長としての1年目はできるだけ施設の大きな動きを避け、皆さんにこの「変化」に慣れ、安心して頂くことを第一に「変わらぬ努力」に力を尽くした１年でした。

一方、国では社会福祉法人制度改革をはじめとする制度変更や報酬改定等“変化”が止まりません。

この障害福祉の分野にも株式会社等の営利団体が続々と参入しました。障害者にとって選択肢が増えたのは良い事ですが、同じサービス名でも運営母体の考え方や実際の支援内容には大きな違いがあり、サービスの質といった面では多くの課題も聞かれております。こういった背景も相まって、大半の施設（あかね園も含め）では利用者や職員の確保が難しく、全国的にも社会福祉法人のＭ＆Ａ（合併・買収）や福祉サービスからの撤退も最近では珍しい話ではありません。

近年の情報化社会では、時代の流れが加速度的に早まり、障害福祉のこれからも予想が難しい時代です。そんな中、新たなスタートを切ったあかね園ではまずこれからの“10年”を見据えて動き始めました。

大きな変化のひとつに保護者の心配事の中心が「就職」や「職場定着」から「親の高齢化」や「親亡き後」にシフトしつつあります。また、利用者自身の高齢化への準備や、先々を想定し他施設や他のサービスへの“つなぎ”の支援にも園には期待が寄せられています。

運営面も様々な転換期を迎えています。「変化」への対応と準備には人材育成が欠かせません。今後10年をかけ、あかね園をかたち創り、成長期を担ってきたベテラン世代から、支援の現場で悪戦苦闘しながら成長途上の若い世代に、かたちだけでなく本質に至るまでをしっかりと繋いでいかねばなりません。そして、30年が経過した、園の建物も老朽化が目立ってきました。今では設立時の３倍の利用者が通い、今後は高齢化等で企業から戻ってくる方も見据え、建物の規模や設備を見直した建て替えと暮らしの場であるグループホームをさらに増やしていく為の資金計画は着実に前進させねばなりません。

法人や施設を支えてきた友の会、保護者会、就労者親の会の各会の活動も、目的の再確認や年齢、規模に応じた活動内容の検討、そして皆さんに理解を頂く為には啓発の強化と時間も必要です。

否が応にも求められる「変化」。大切にすべきは今のこのタイミングにあかね園が“何を変え”“何を変えない”のかをしっかりと見極めることです。そして、そこには設立時の尽力者達の強い想いや、この30年園と歩み、走り続けてきた親達や様々な方の支えがあって「今のあかね園がある」という事を忘れてはなりません。「変化」には変わり方も大切です。あかね園がこれからも皆さんの「居場所」や「心の拠り所」となり、そして社会やニーズに合わせ発展していけるよう、職員一同、そして保護者も含めベテランの力（知恵）と若い力（エネルギー）を合わせ、新しい時代と向き合っていきたいと思います。

第31回 あかね園バザー報告

新生
「第31回あかね園バザー」

バザー実行委員長　岡崎　幸子

10月1日開催の「第31回あかね園バザー」は、天高く晴れわたった秋空の下、1,000名を超す来場者を、280名のオールあかね園スタッフ（保護者・園生・職員）がお迎えして盛大に行うことが出来ました。今年は“楽しさいっぱい！全員集合！”を合言葉に、「バザーあり、イベントありの賑やかで楽しい地域の秋祭り」をメインテーマに掲げて、「バザー」の名称にこだわらない、笑顔あふれる催しを心がけ、企画・準備を重ねてこの日を迎えました。お祭りの楽しみといえば、買物・飲食・イベントの３要素。これに“集う喜び”が加わって、まさに新生「あかね園バザー」を園屋内外いっぱいに展開することができました。

ところで、今年は法人創立31年、あかね園開設30年の年に当たります。あかね園保護者活動の原点ともいえる「あかね園バザー」も31回目。親達が“資金と知恵と汗”を出し合って作ったあかね園ですから、その借金も親達の活動で返済していこうとバザーを始めたのでした。「保護者会費からの１万円を準備金にして、手作り品を作り提供品集めに奮闘し、60万9千円を売り上げ…」（20周年記念誌より）という先輩達の志を受け継ぎ、次代へどうつなげるか、いかに続けていくかが問われている31回目でした。

近年は社会状況の変化にともない、従来型の提供品集めに苦慮するようになってきました。

また、運営スタッフである親達の高齢化や仕事を持つ若い世代が増えたことも、越えなければならない課題でした。

一方、協力企業さんからは「毎年8月頃になるとバザー用の提供品の準備をしてますよ」というお話しや、保護者から「子供と園のために活動できる場があってありがたい」という声も聞かれ、何より、地域の方や卒園生、関係者の多くの皆さんが、毎年10月のバザー開催を楽しみにしていて下さるという事実に、改めて“続ける”大切さを認識しました。

そこで、商品のスリム化とスタッフ省力化を計り、収益金と規模を第１目標にするのではなく、園と仲間と地域がつながる“お祭り”としての「あかね園バザー」をスタートさせることにしました。地域共生社会を象徴する景色の一端が、毎年ここで見られるようになるよう努力していきたいと思います。

ご協力頂いた全ての皆様に深く感謝致します。今後とも変わらぬお力添えを頂けますようお願い申し上げます。

総売り上げ：2,785,233円
総経費：377,133円　収　益：2,408,100円

バザー実行委員会

第31回あかね園バザーにご協力いただきました企業・団体・学校

フジッコ㈱　㈱フレッシュダイナー　㈱ミスターマックス 新習志野店　金亀糸業㈱　㈱セキヅカ商事　㈱エスシー　㈱カルタス　㈱東京エコール　船橋興産㈱　ロイヤル㈱　㈱文明堂銀座店　京葉測量㈱　京成バス㈱新都心営業所　サッポロビール㈱京葉物流センター　㈱市川環境エンジニアリング　勝又自動車㈱コルネット事業部　三井食品㈱　東京アート㈱第一物流センター　㈱ドトールコーヒー　㈱今半 船橋工場　エフピコ物流㈱　豊茂園　日新化工㈱　石橋梨園　名糖運輸㈱千葉物流センター　㈱京樽 船橋工場　㈱デイリーフーズ 京葉センター　ニック食品㈱　㈱美十　ライフフーズ㈱市川センター　イオンフードサプライ㈱　エスフーズ㈱　㈱ニチレイフーズ船橋工場パックセンター　エフピコダックス㈱千葉工場　㈳京葉食品コンビナート協議会　船橋総合卸商業団地協同組合　㈱日経首都圏印刷　習志野市茜浜第3企業連絡協議会　石上青果㈲　肉の皆川　㈱フリジポート　㈱ジェイアイシー　㈱船橋総行　㈱ヤオハル　㈱オランダ家　㈱大地を守る会　㈲E-anbai　㈱ニチレイアウラ　習志野市立第3中学校　習志野市立第6中学校　船橋芝六太鼓　秋津ばか面踊り　習志野市立第7中学校吹奏楽部　オービック・シーガルズ　ネイル・ビジュ　花の実園　らく～ね検見川浜ＰＩＡ店　ふる里学舎　北総育成園　オリーブの樹　（順不同、敬称略）

上記の他に多数の方々にご協力いただきましたが、お名前は割愛させていただきます。

今年度の各親の会の定例会報告

親の学習の場を大切に

保護者会 会長　原田　章江

あかね園保護者会とは、あかね園の障害福祉サービス事業（自立訓練事業、就労移行支援事業、就労継続Ｂ型事業）利用者の保護者の会です。園での訓練を経て就職すると、保護者は就労者親の会（任意加入）の所属となります。

保護者会は月１回定例会を行っています。定例会では、園からは各事業の状況と様々な情報の報告があり、園の現状や子ども達の様子を知ることができます。また、保護者のための研修の時間を設け、「生活習慣」をテーマに取り組んでいます。

今年度の研修は、まず我が子の日常生活を時間軸で振り返り、それぞれの問題点を洗い出す作業から始めました。それにより日々の生活について改めて認識することができました。次に、出された問題点を４つのテーマに分け、毎月１テーマずつグループワークや全体会で話し合い、職員の方のアドバイスを受けるという活動を続けました。回を重ねるにつれ「よい生活習慣」への理解が深まったのを感じます。全てのテーマに共通するのは、時間の使い方ではないかと気付きました。時間の使い方を有効にすることが「よい生活習慣」を築く、そして、それは子ども達に限らず全ての人に当てはまるのではないかと思います。

活動中、保護者同士の活発な意見交換が行われ、会員相互の意思の疎通をはかることができました。特にベテランのお母様方のお話は大変参考になり、職員の方のお話には納得させられました。

保護者会は、今後も親の学習の場を大切にしていきたいと考えています。現在子ども達はあかね園でこれからの地域活動の礎となる訓練を受けています。しかし、多くの園生は４～５年で巣立っていきます。親が保護者会に在籍するのは、長い人生の中で僅かな期間です。この最も大事な時期、親もしっかり学びあかね園と同じ方向性を持つことにより、子ども達が将来に渡ってより良い地域生活を送ることができ、私達の老後の安心にも繋がると信じています。毎月の参加が難しくても、定例会には是非とも都合をつけてご参加頂けるよう役員（13名）も一生懸命準備をしています。

情報を豊かに

就労者親の会 副会長　佐藤　淑子

就労者親の会は、あかね園の訓練を経て就職した子を持つ親たちの会です。親の会の活動は、年４回の定例会、年１回の研修会、曜日手作りボランティア、バザー、作品の販売など、研修とボランティアの２本の柱の活動を行っています。

平成８年に20名で発足、現在158名となり働く子供たちは20代～50代。親は50代～80代と幅広いのですが、共通のテーマは、「長く就労するには」です。それには「家庭の力」が大であると痛感し、数年前から岡崎会長の元、あかね園の先生方と、定例会や研修会で話し合ってきました。そして今、「将来を見据えて」子供たちの「将来の住み方、豊かな暮し方」をテーマにして話し合っています。

将来、地域で１人暮し、自宅で家族と、施設でと考えている方も、今、身に着けておくべき基本的な生活習慣こそが親なきあとも生きる力になる事を話し合っています。

来たるべき時に、親は子供にとってベストな決断が出来るよう、様々な事柄を松尾施設長、柴田常務理事、職員の先生方や、専門の方の講演、そして施設などを見学し、見聞きすることで情報豊かにしていきたいと思っています。

あかね園親の会に所属している親は幸いです。色々な情報を得る環境にいます。ぜひ定例会、研修会にご参加お願いいたします。

定例会での研修の様子

保護者会

就労者親の会

第30回 友の会コンサート

去る6月16日、「バレエとクラシックの奏で」と題した友の会コンサートは、多数のお客様にご来場いただき無事終了することができました。今回は、友の会設立30周年という節目の年に相応しく、今までと違うもの、より楽しいものをと企画致しました。

バレエと生の演奏を同時に同舞台でという試みは、舞台を作るうえでかなり困難なものでしたが、「良いものを作りましょう」を合言葉に、各方面の方々のご助言、ご協力のおかげで何とか当日を迎えることができました。

長年、あかね園園生に良い体験を、地域の皆様に楽しんで頂きたいとの思いで続けてまいりましたが、今回「バレエは初めて、今までで一番楽しかった」と、多くの方の感想を頂き、大変うれしく活動の励みになりました。

関わってくださったすべての方々に、改めて、心よりお礼申し上げます。

友の会はこれからも、時代に合った、より良い形での活動を目指して努めてまいりたいと思います。皆様の変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。

（あひるの会「友の会」事務局　中内　純子）

園日誌

今年度、就労継続Ｂ型の本場班に所属し、半年が経ちました。

まず驚いたのは、その作業種の多さと、日々変わる作業にも動じず、黙々と取り組む利用者さんの「ベテランの貫禄」です。

そして、中でも大きく印象に残っているのは市民農園での取り組みです。

夏にはゴーヤ・ズッキーニ・バジル・シソの栽培を行ないました。暑い中で頻繁に水やりや草とりをし、きつくなる日もありましたが、愛情を込めて育てた苗が成長する過程を見ていると何物にも代えられない達成感がありました。

そして、何よりも収穫をしている利用者さんの表情は、決して工場の中では見られないものでした。私自身が太陽の下で土に触れていると自然とわくわくする気持ちは利用者さんも同じのようでした。普段は控えめな方が積極的に動き、輝いている姿は畑の作業だからこそでした。

夏の野菜は9月で終了しましたが、10月には新たに冬野菜のコマツナ・カブの種まきを行ないました。また利用者さんの喜ぶ姿が見られると思うと、今から収穫が楽しみです。

牧野　涼

「友の会」へのご入会をお願いいたします。

一般会員（年間一口　3,000円）　法人会員（年間一口　10,000円）
郵便振替　00110-0-354445
銀行振込　千葉興業銀行　津田沼支店 普－4771251
口座名：社会福祉法人　あひるの会友の会　代表　国松実枝子
入会申込み、問合せは事務局まで
047-452-2715　Fax 047-452-2693

編　集　後　記

記念のイベントも無事終了し、皆様からの「楽しかった」の一言が日々の活動の励みとなります。

今後とも、あひるの会「友の会」を何卒よろしくお願い致します。

編集人　あひるの会友の会代表　国松実枝子
発行所　社会福祉法人　あひるの会「友の会」
〒275-0024 習志野市茜浜3丁目4番5号